

## 参考資料 21 沖縄の将来道路計画について

沖縄の将来道路計画（沖縄西海岸道路、小禄道路）の概要を以下に整理した。



図 沖縄の将来道路計画（沖縄西海岸道路、小禄道路）

沖縄西海岸道路は、読谷村から糸満市に至る延長約 50 km の道路であり、読谷道路、嘉手納バイパス、宜野湾バイパス（平成 12 年供用）、浦添北道路、那覇西道路（平成 23 年供用）、豊見城道路、糸満道路の約 27.0 km について事業化され、整備が行われている。

次頁以降に上記①～⑦の「個別道路事業の評価」資料を示す（⑤那覇北道路は新規事業採択時評価結果、その他の道路は事業再評価結果）。

なお、各将来道路計画の概要と進捗状況については内閣府沖縄総合事務局ホームページ (<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623.html>) の「事業計画」資料より、費用便益分析の結果及び交通状況の変化については国土交通省道路局道路 I R サイト (<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/ir-hyouka.html>) の「個別道路事業の評価」資料より抜粋している。

表 社会資本整備に関する工程表

区分	事業名	進捗状況	H26年度の成果等	H27年度の成果目標等	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32以降	備考
那覇空港自動車道	一般国道506号 豊見城東道路 L=6.2km (豊見城IC～豊見城・名嘉地IC)	事業の進捗が順調	・豊見城・名嘉地IC～豊見城IC L=2.7km(4/4) 平成27年3月3日開通済 ・(上田地区)舗装工、付帯工	・環境調査 ・(名嘉地地区)付帯工								・豊見城IC～南風原南IC L=3.5km(2/4) H15.4.26開通済 ・豊見城・名嘉地IC～豊見城IC L=2.7km(2/4) H20.3.22開通済 ・豊見城IC～南風原南IC L=3.5km(4/4) H26.3.31開通済 ・豊見城・名嘉地IC～豊見城IC L=2.7km(4/4) H27.3.3開通済
	一般国道506号 小禄道路 L=5.7km (那覇空港IC～豊見城・名嘉地IC)	事業の進捗が順調	・道路設計 ・用地買収(具志地区) ・瀬長交差点改良	・道路設計 ・用地買収(具志地区) ・瀬長交差点改良								
名護東道路	一般国道58号 名護東道路 L=6.8km (伊差川IC～数久田IC)	事業の進捗が順調	・道路設計 ・用地買収(数久田地区) ・3号トンネル工事 ・数久田高架橋下部工 ・世富慶地区改良工	・道路設計、環境調査 ・用地買収(数久田地区) ・3号トンネル工事 ・世富慶高架橋上部工 ・数久田高架橋下部工 ・世富慶地区改良工 ・数久田地区改良工								・伊差川IC～世富慶IC L=4.2km(2/4) H24.3.30開通済
沖縄西海岸道路	一般国道58号 読谷道路 L=6.0km (読谷村親志～読谷村古堅)	事業の進捗が順調	・道路設計 ・用地買収(親志、座喜味地区) ・文化財調査 ・3号橋、座喜味地区橋梁下部工	・道路設計、環境調査 ・用地買収(座喜味地区) ・文化財調査 ・大木地区函渠工 ・座喜味地区橋梁下部工 ・親志地区改良工								・読谷村座喜味～読谷村喜名 L=1.5km(2/4) H25.4.18開通済 ・読谷村大木～読谷村古堅 L=1.3km(2/4) H15.4.16開通済
	一般国道58号 浦添北道路 L=2.0km (宜野湾市宇地泊～浦添市港川)	工程に遅延の可能性あり	・道路設計 ・文化財調査 ・用地買収(港川地区) ・港川地区改良工 ・牧港高架橋上・下部工 ・港川高架橋上・下部工	・道路設計 ・文化財調査 ・用地買収(港川地区) ・港川地区改良工 ・牧港高架橋上・下部工 ・港川高架橋上・下部工								
	一般国道58号那覇北道路 L=2.2km 那覇港新港ふ頭地区臨港道路 若狭港町線 (那覇市港町～那覇市若狭)	事業の進捗が順調	・平成26年度事業化 ・測量、地質調査、道路設計	・測量、地質調査、道路設計								
	一般国道331号 豊見城道路 L=4.0km (豊見城市瀬長～糸満市西崎)	事業の進捗が順調	・道路設計 ・与根高架橋上部工 ・報得高架橋上部工	・環境調査、道路設計 ・与根地区改良工 ・与根高架橋舗装工 ・報得高架橋舗装工 ・西崎地区舗装工								・豊見城市瀬長～豊見城市豊崎 L=2.3km(2/4) H18.2.25開通済 ・豊見城市豊崎～糸満市西崎 L=0.6km(2/4) H19.3.17開通済 ・糸満市西崎地内 L=1.1km(2/4) H16.3.31開通済 ・豊見城市瀬長～糸満市西崎L=4.0km(4/4) 平成27年度開通予定
	一般国道331号 糸満道路 L=3.4km (豊見城市西崎～糸満市真栄里)	事業の進捗が順調	・道路設計 ・糸満高架橋上部工 ・西崎高架橋上部工	・環境調査、道路設計 ・糸満高架橋上部工 ・西崎高架橋上部工 ・西崎地区改良工								・糸満市西崎～糸満市糸満 L=1.6km(2/4) H24.3.31開通済 ・糸満市糸満～糸満市真栄里 L=0.8km(4/4) H14.4.15開通済 ・糸満市真栄里地内 L=1.0km(4/4) H24.3.31開通済 ・糸満市西崎～糸満市糸満 L=1.6km(4/4) 平成28年度開通予定
一般二次改築	一般国道58号 恩納バイパス L=5.1km (恩納村瀬良垣～恩納村南恩納)	事業の進捗が順調	・環境調査 ・1号橋梁上部工 ・恩納地区改良工	・環境調査 ・用地買収(瀬良垣地区) ・1号橋梁上部工 ・恩納地区改良工 ・瀬良垣地区改良工 ・恩納地区舗装工								・恩納村字瀬良垣～恩納村字南恩納 L=5.1km(2/4) H23.4.29開通済 ・平成27年度 交差点改良開通予定
	一般国道58号 恩納南バイパス L=6.5km (恩納村字南恩納～恩納村字谷茶)	工程に遅延の可能性あり	・環境調査 ・埋蔵文化財調査 ・用地買収(南恩納地区) ・3号橋下部工 ・4号橋上・下部工 ・南恩納地区改良工	・環境調査 ・埋蔵文化財調査 ・用地買収(南恩納地区) ・2号橋下部工 ・6号橋下部工 ・3号橋上部工 ・4号橋上部工 ・南恩納地区改良工								・恩納村字谷茶～恩納村字仲泊 L=4.5km(2/4) H21.11.1(2/4)開通済 ・恩納村字南恩納～恩納村字谷茶 L=2.0km(2/4) 平成27年度開通予定
	一般国道58号 嘉手納バイパス L=3.2km (読谷村古堅～嘉手納町兼久)	事業の進捗が順調	・道路設計	・道路設計								

出典：内閣府沖縄総合事務局開発建設部ホームページ (<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623.html>) を参考に作成

①小禄道路	延長=5.7km	平成 27 年度再評価
-------	----------	-------------

1) 事業概要

沖縄自動車道、南風原道路、豊見城東道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県那覇市鏡水～豊見城市名嘉地

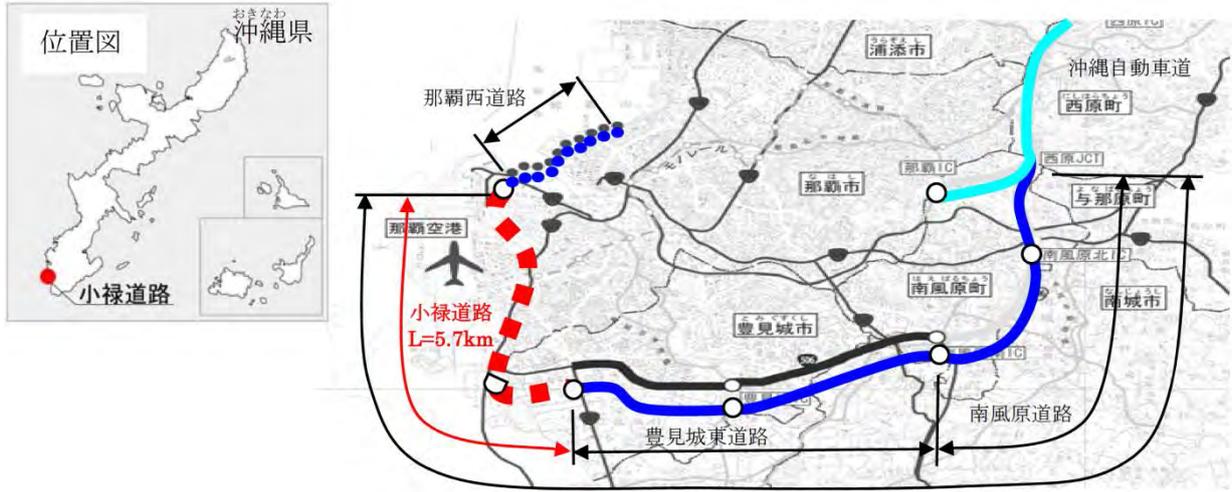


図 事業概要図

2) 進捗状況

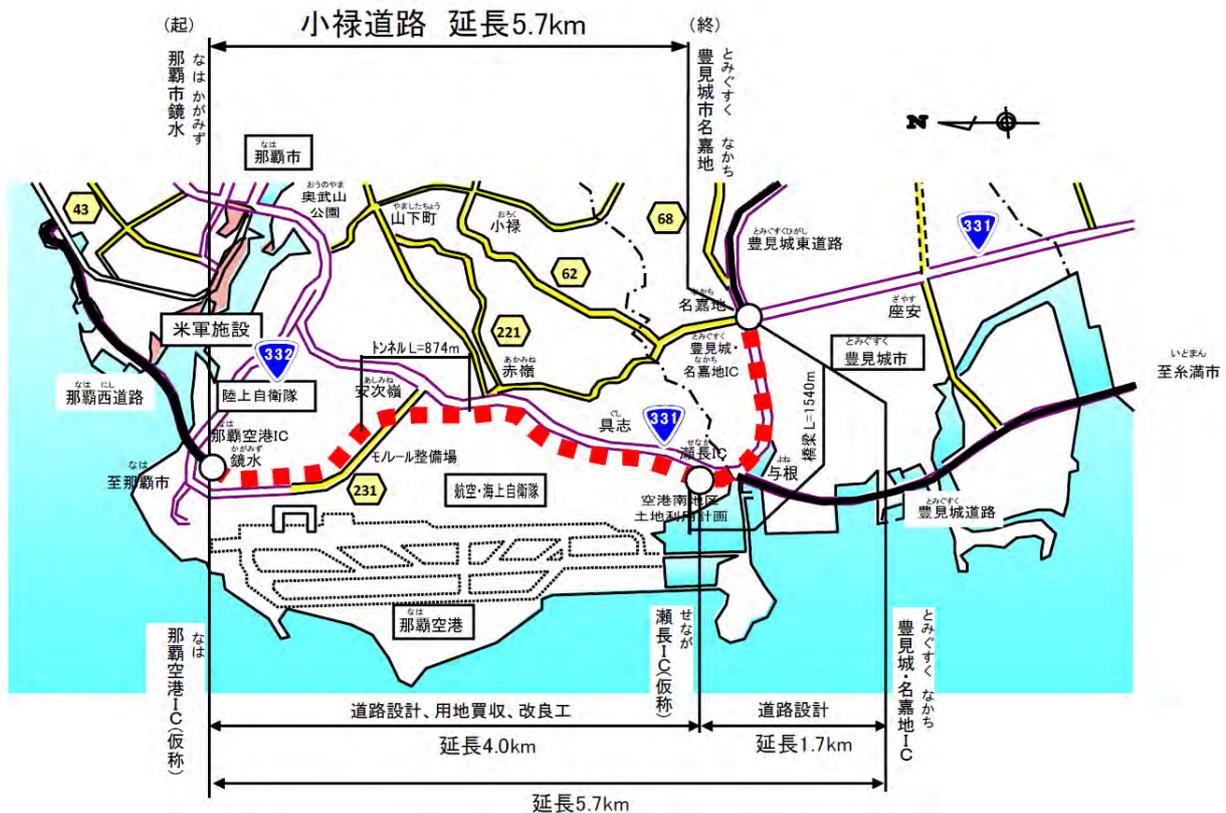


図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 27 年度		
単純合計	591 億円	60 億円	651 億円
基準年における 現在価値	499 億円	21 億円	519 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 27 年度			
単年便益	24 億円	4.1 億円	3.2 億円	31 億円
基準年における 現在価値	714 億円	151 億円	121 億円	986 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体	1.9	466 億円	7.8%

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [小禄道路：5.7 km]	交通量	[台/日]	—	36,800	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.9	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	33	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 ： 1.4km	交通量	[台/日]	45,400	39,600	-5,800	0.87
		走行時間	[分]	2.1	2.0	-0.1	0.95
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	14.0	-3.0	0.82
	(県)那覇空 港線 ： 1.7km	交通量	[台/日]	29,300	14,800	-14,500	0.51
		走行時間	[分]	3.1	2.6	-0.5	0.84
		走行時間費用	[億円/年]	16.0	6.7	-9.3	0.42
	国道 331 号 ： 5.1km	交通量	[台/日]	28,600	17,000	-11,600	0.59
		走行時間	[分]	11.0	8.4	-2.6	0.76
		走行時間費用	[億円/年]	49.0	22.0	-27.0	0.45
	(県)那覇内 環状線 ： 3.0km	交通量	[台/日]	19,600	15,700	-3,900	0.80
		走行時間	[分]	5.0	4.8	-0.2	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	13.0	-4.0	0.76
	(主)奥武山 米須線 ： 3.7km	交通量	[台/日]	16,400	12,000	-4,400	0.73
		走行時間	[分]	7.8	6.8	-1.0	0.87
		走行時間費用	[億円/年]	21.0	14.0	-7.0	0.67



図 主な周辺道路の位置

## 5) 整備効果

### ① 時間短縮

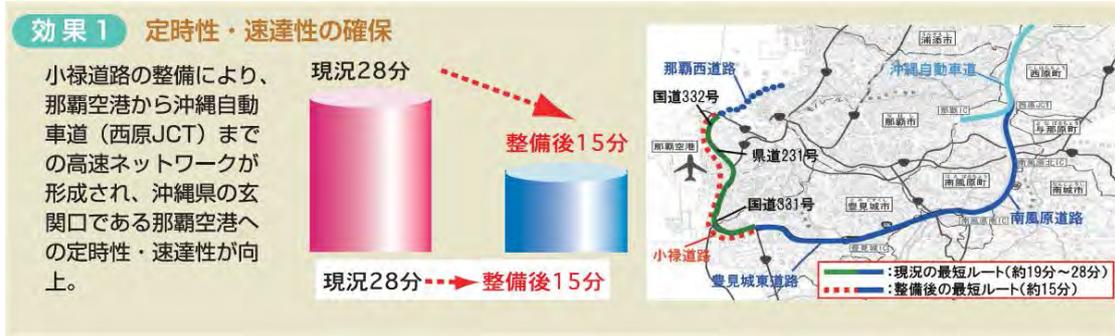


図 那覇空港から沖縄自動車道までの時間短縮

### ② 交通分散



図 小禄地区の混雑緩和および那覇中心部における通過交通の削減効果

### ③ 混雑緩和



図 混雑緩和

出典：道路事業パンフレット（国道506号小禄道路）、南部国道事務所

②沖縄西海岸道路（読谷道路）	延長=6.0km	平成 25 年度再評価
----------------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 58 号の読谷村から嘉手納町間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、地域開発プロジェクトを支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡読谷村親志～中頭郡読谷村古堅



図 事業概要図

2) 進捗状況

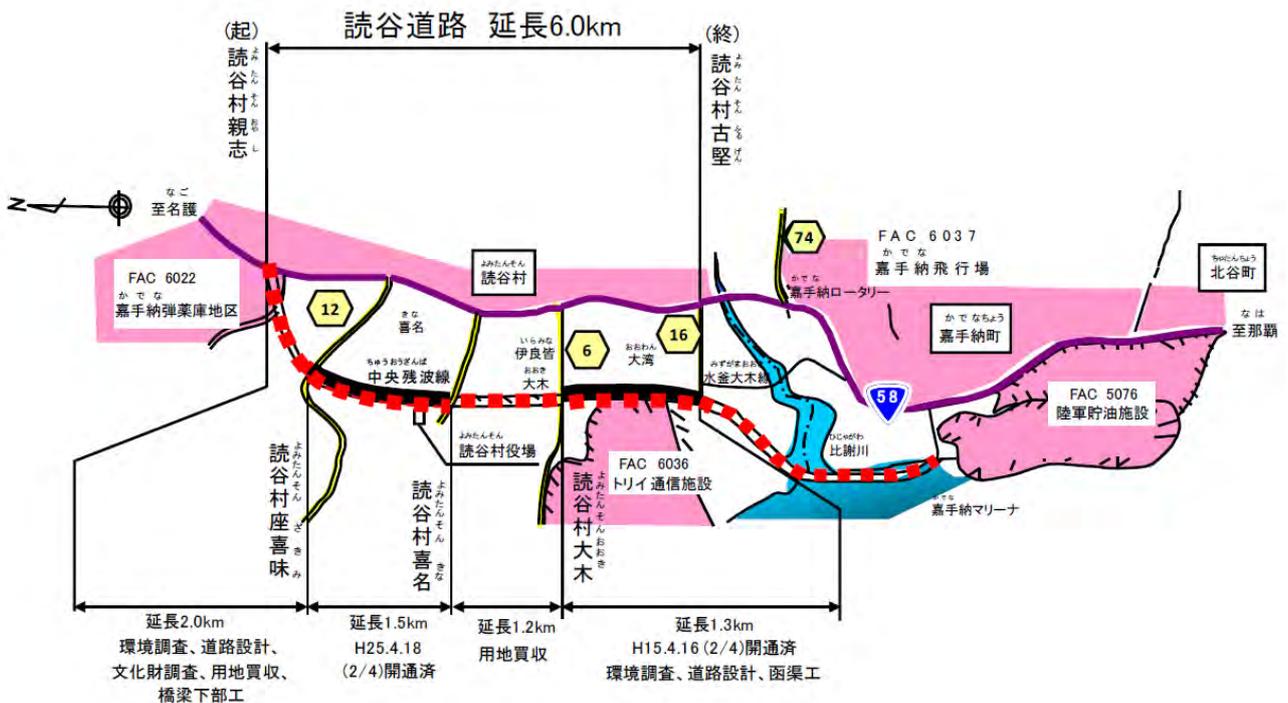


図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	594 億円	69 億円	663 億円
うち残事業分	436 億円	63 億円	498 億円
基準年における 現在価値	536 億円	33 億円	569 億円
うち残事業分	320 億円	20 億円	340 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	15 億円	2.3 億円	0.48 億円	18 億円
基準年における 現在価値	1,519 億円	205 億円	78 億円	1,801 億円
うち残事業分	1,045 億円	121 億円	54 億円	1,221 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.2	1,233 億円	11.1%
残事業	3.6	881 億円	14.4%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [読谷道路：6.0 km]		交通量	[台/日]	—	27,600	—	—
		走行時間	[分]	—	6.8	—	—
		走行時間費用	[億円/年]	—	36.0	—	—
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 : 4.7km	交通量	[台/日]	48,100	33,400	-14,700	0.69
		走行時間	[分]	12.0	8.2	-3.8	0.68
		走行時間費用	[億円/年]	127.0	55.0	-72.0	0.43
	(県) 6 号 : 5.1 km	交通量	[台/日]	13,100	9,500	-3,600	0.73
		走行時間	[分]	17.0	14.0	-3.0	0.82
		走行時間費用	[億円/年]	48.0	38.0	-10.0	0.79
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	13,800	12,400	-1,400	0.90
		走行時間	[分]	4.3	3.6	-0.7	0.84
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	7.7	-3.3	0.70



図 主な周辺道路の位置

③沖縄西海岸道路（嘉手納バイパス）	延長=3.2km	平成 26 年度再評価
-------------------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 58 号の読谷村から嘉手納町間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、周辺観光施設へのアクセス向上及び地域開発プロジェクトを支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡読谷村古堅～中頭郡嘉手納町兼久



図 事業概要図

2) 進捗状況

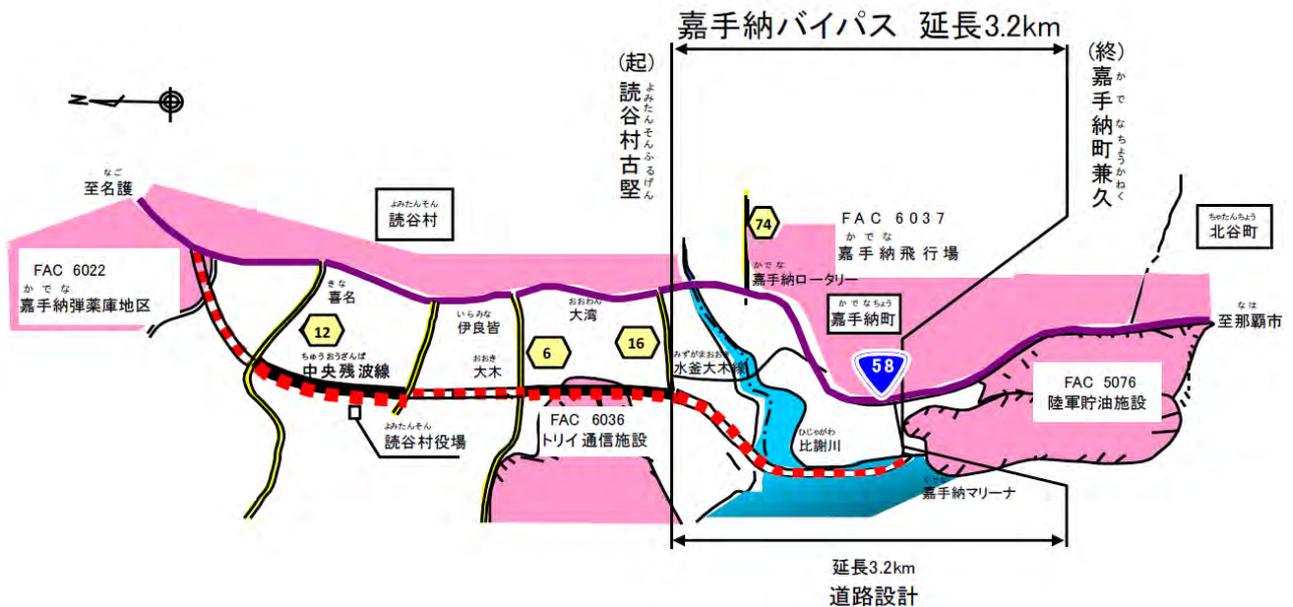


図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

**表 費用便益分析の結果**

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 26 年度		
単純合計	266 億円	43 億円	309 億円
うち残事業分	237 億円	43 億円	280 億円
基準年における 現在価値	221 億円	13 億円	234 億円
うち残事業分	177 億円	13 億円	190 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 26 年度			
単年便益	6.0 億円	0.78 億円	0.74 億円	7.6 億円
基準年における 現在価値	393 億円	39 億円	26 億円	458 億円
うち残事業分	393 億円	39 億円	26 億円	458 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	2.0	224 億円	7.0%
残事業	2.4	268 億円	9.7%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [嘉手納バイパス : 3.2 km]	交通量	[台/日]	—	22,800	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.2	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	17.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 : 2.7km	交通量	[台/日]	57,400	47,500	-9,900	0.83
		走行時間	[分]	6.4	5.0	-1.4	0.78
		走行時間費用	[億円/年]	65.0	43.0	-22.0	0.66
	町道水釜大 木線 : 0.7 km	交通量	[台/日]	27,600	11,800	-15,800	0.43
		走行時間	[分]	3.8	3.5	-0.3	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	19.0	7.2	-11.8	0.38
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	18,700	12,400	-6,300	0.66
		走行時間	[分]	4.6	3.6	-1.0	0.78
		走行時間費用	[億円/年]	15.0	7.7	-7.3	0.51



図 主な周辺道路の位置

④沖縄西海岸道路（浦添北道路）	延長=2.0km	平成 26 年度再評価
-----------------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 58 号の宜野湾市から浦添市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市港川



図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

**表 費用便益分析の結果**

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 26 年度		
単純合計	288 億円	20 億円	308 億円
うち残事業分	55 億円	20 億円	75 億円
基準年における 現在価値	297 億円	7.5 億円	304 億円
うち残事業分	52 億円	7.5 億円	60 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 26 年度			
単年便益	33 億円	3.8 億円	1.4 億円	38 億円
基準年における 現在価値	629 億円	75 億円	27 億円	731 億円
うち残事業分	629 億円	75 億円	27 億円	731 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	2.4	426 億円	9.2%
残事業	12.3	671 億円	40.0%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [浦添北道路：2.0 km]	交通量	[台/日]	—	27,000	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.1	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	19.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 ： 4.4km	交通量	[台/日]	84,700	70,000	-14,700	0.83
		走行時間	[分]	7.1	5.8	-1.3	0.85
		走行時間費用	[億円/年]	106.0	72.0	-34.0	0.68
	国道 330 号 ： 2.7 km	交通量	[台/日]	67,900	63,600	-4,300	0.94
		走行時間	[分]	5.4	5.1	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	64.0	56.0	-8.0	0.88
	(県) 153 号 ： 1.5km	交通量	[台/日]	55,300	52,800	-2,500	0.95
		走行時間	[分]	5.3	5.1	-0.2	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	52.0	47.0	-5.0	0.90



図 主な周辺道路の位置

⑤那覇北道路	延長=2.2km	平成 26 年度新規採択
--------	----------	--------------

### 1) 事業概要

本道路は、那覇都市圏の環状道路を形成し、一般国道 58 号の那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上による物流の効率化、観光振興を支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭

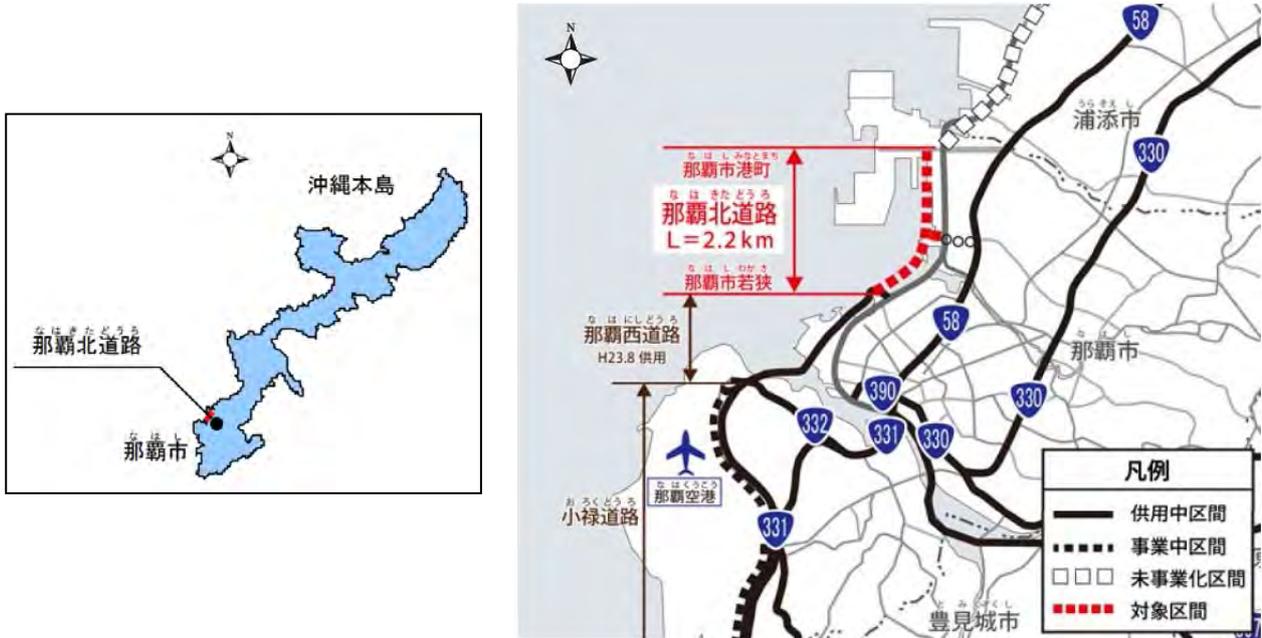


図 事業概要図

### 2) 進捗状況

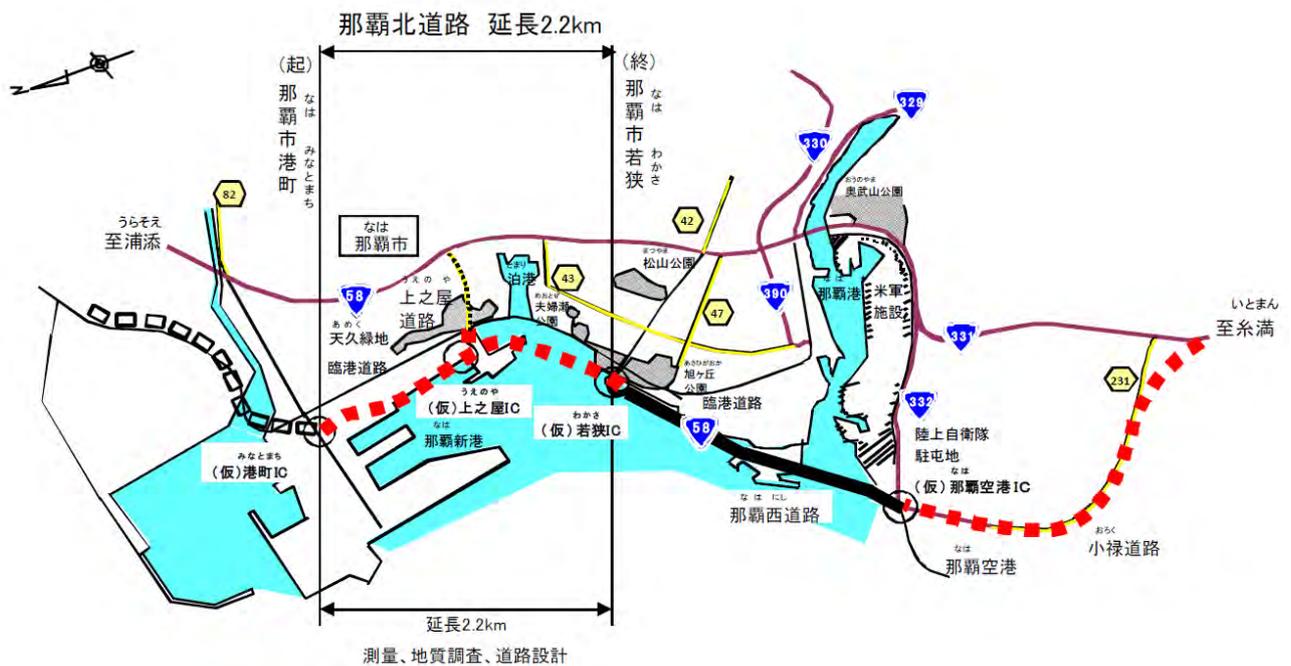


図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	699 億円	42 億円	742 億円
基準年における 現在価値	529 億円	12 億円	541 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	61 億円	11 億円	6.4 億円	79 億円
基準年における 現在価値	857 億円	157 億円	89 億円	1,104 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体	2.0	563 億円	8.5%

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [那覇北道路：2.2 km]	交通量	[台/日]	—	42,100	—	—	
	走行時間	[分]	—	2.2	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	16.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 ： 4.7km	交通量	[台/日]	65,500	54,300	-11,200	0.83
		走行時間	[分]	10.0	8.8	-1.2	0.88
		走行時間費用	[億円/年]	118.0	85.0	-33.0	0.72
	現道（臨港道 路 1 号線） ： 2.5km	交通量	[台/日]	41,300	16,300	-25,000	0.39
		走行時間	[分]	6.6	4.0	-2.6	0.61
		走行時間費用	[億円/年]	49.0	12.0	-37.0	0.24
	国道 331 号 ： 0.4km	交通量	[台/日]	36,400	28,300	-8,100	0.78
		走行時間	[分]	0.64	0.60	-0.04	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	4.0	2.9	-1.1	0.73
	国道 330 号 ： 2.0km	交通量	[台/日]	46,800	44,500	-2,300	0.95
		走行時間	[分]	5.3	5.0	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	42.0	38.0	-4.0	0.90



図 主な周辺道路の位置

⑥豊見城道路	延長=4.0km	平成 25 年度再評価
--------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 331 号の豊見城市周辺部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上、周辺観光施設へのアクセス向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県豊見城市瀬長～糸満市西崎

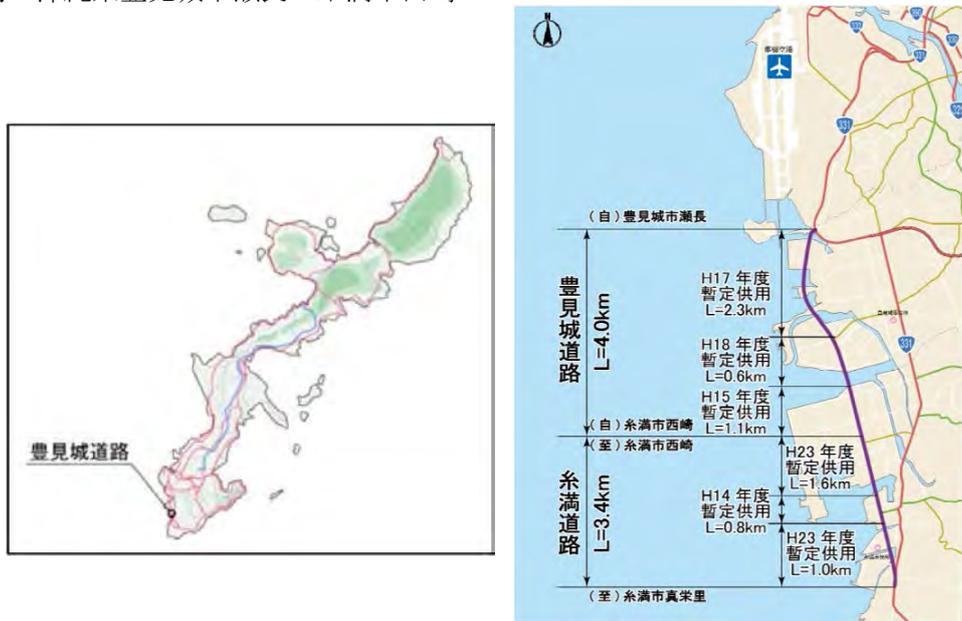


図 事業概要図

2) 進捗状況

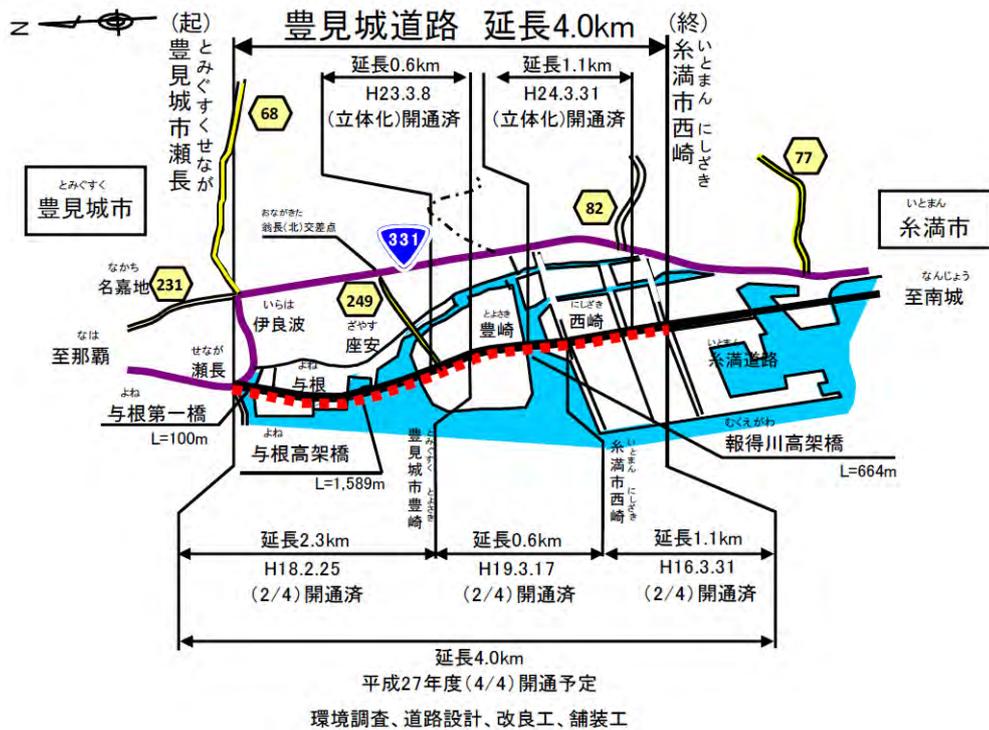


図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

**表 費用便益分析の結果**

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	388 億円	71 億円	459 億円
うち残事業分	28 億円	44 億円	71 億円
基準年における 現在価値	470 億円	42 億円	512 億円
うち残事業分	26 億円	17 億円	44 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	0.64 億円	0.06 億円	0.05 億円	0.75 億円
基準年における 現在価値	1,538 億円	237 億円	92 億円	1,867 億円
うち残事業分	290 億円	38 億円	24 億円	352 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.6	1,355 億円	14.5%
残事業	8.1	308 億円	48.4%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [豊見城道路：4.0 km]	交通量	[台/日]	—	36,900	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.6	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	30.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	現道（国道 331号） ：5.2km	交通量	[台/日]	35,700	18,600	-17,100	0.52
		走行時間	[分]	11.0	8.2	-2.8	0.75
		走行時間費用	[億円/年]	77.0	27.0	-50.0	0.35
	（主）那覇糸 満線 ：1.7 km	交通量	[台/日]	26,000	19,100	-6,900	0.73
		走行時間	[分]	2.3	2.2	-0.1	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	7.2	-2.8	0.65
	（県）東風平 豊見城線 ：2.5km	交通量	[台/日]	26,600	21,400	-5,200	0.80
		走行時間	[分]	3.8	3.5	-0.3	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	18.0	13.0	-5.0	0.72



図 主な周辺道路の位置

⑦糸満道路	延長=3.4km	平成 25 年度再評価
-------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 331 号の糸満市周辺部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇空港・那覇港へのアクセス強化による物流機能の向上、周辺観光施設へのアクセス向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県糸満市西崎～糸満市真栄里

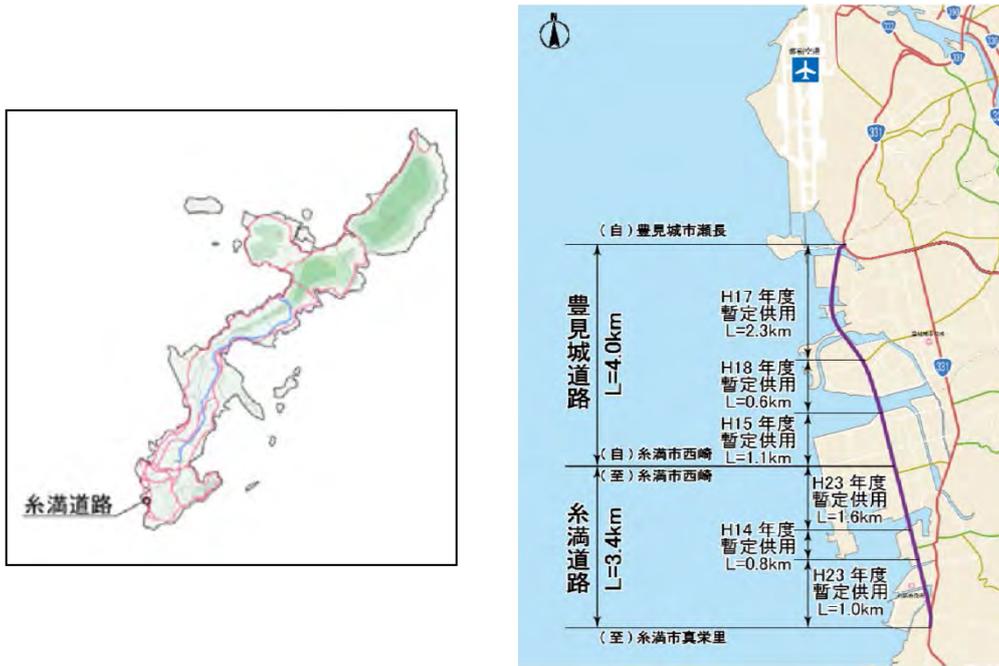


図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

**表 費用便益分析の結果**

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	488 億円	67 億円	555 億円
うち残事業分	64 億円	37 億円	100 億円
基準年における 現在価値	587 億円	31 億円	617 億円
うち残事業分	58 億円	14 億円	72 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	29 億円	1.7 億円	0.15 億円	31 億円
基準年における 現在価値	776 億円	111 億円	58 億円	946 億円
うち残事業分	177 億円	16 億円	11 億円	205 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	1.5	329 億円	6.0%
残事業	2.8	133 億円	12.9%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [糸満道路：3.4km]	交通量	[台/日]	—	21,900	—	—	
	走行時間	[分]	—	3.6	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	14.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	現道（国道 331号） ：2.7km	交通量	[台/日]	21,800	7,300	-14,500	0.33
		走行時間	[分]	9.3	5.1	-4.2	0.55
		走行時間費用	[億円/年]	34.0	6.7	-27.3	0.20
	（主）奥武山 米須線 ：5.3km	交通量	[台/日]	6,900	4,600	-2,300	0.67
		走行時間	[分]	12.0	10.0	-2.0	0.83
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	11.0	-6.0	0.65
	（県）15号 ：4.1km	交通量	[台/日]	600	100	-500	0.17
		走行時間	[分]	6.4	6.2	-0.2	0.97
		走行時間費用	[億円/年]	0.65	0.09	-0.56	0.14



図 主な周辺道路の位置